

行政評価シート【分野別施策】

分野別施策 5－②

農業・漁業を振興する

目指す姿

●多種多様な農水産物の生産等が行われるとともに、デジタル技術を活用した新たな機器を導入するなど、事業の拡大が図られています。また、都市近郊の立地が活かされ、多くの市民が農水産業の大切さを肌で感じており、農漁業者は地域への愛着と誇りを持って働いています。

成果指標の達成状況

指標名	実績値					目標値
	計画 策定時	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2027 年度
ワンストップ窓口の就農相談件数【累計】	28 件	95 件	113 件			168 件
スマート農業の導入支援件数【累計】	10 件	29 件	39 件			50 件
農地利用集積面積	153ha	169ha	174ha			↗
低利用魚★ ¹ 活用数量	-	0.56 トン	3.24 トン			↗

★¹ 価値がない、または低いため、水揚げされても市場に出回らない、あるいは出回りにくい魚のこと。

施策の推進に向けた主な取組の「成果」

- ・スマート農業の導入を支援するとともに、農作業受託組織に対して、資機材導入や運営に係る支援を行いました。また、「農業支援ワンストップ相談窓口」で関係機関と連携し総合的に相談対応するなど、経営安定や拡大を図る意欲ある農業者を支援するとともに、認定新規就農者に対して、家賃支援や資機材導入支援、国の交付金を活用した就農当初の資金支援を行いました。
- ・農道や用排水路の改修や整備を行い、耕作機械の進入が容易となったことで、農業生産性が向上しました。
- ・農地の利用集積を促進するため、農業委員や農地利用最適化推進委員とともに貸手・借手の掘り起こしや農地の貸借のあっせんを行いました。
- ・平塚市漁業協同組合が実施する漁獲物の高付加価値化や漁場環境を向上させる取組などの支援を行いました。また、水産物の販売等を行うベジタマまつりを開催したほか、小学校への訪問

事業を漁業者と共に行うなど、漁業に対する理解を深める取組を実施しました。

- ・「ひらつか花アグリ」等での農業体験、平塚産農産物PRキャラクター「ベジ太」を活用した幼稚園、小学校等の訪問事業及び地元生産者の農産物直団体「軽トラ・ファーマーズ」の大型商業施設への出店等を実施し、農業理解や地産地消を推進しました。

施策を推進する上での「課題（・）」と、課題解決を図るための「取組方針（⇒）」

- ・ 農業者の高齢化が進むなかで、担い手の確保・育成や農地利用の最適化を推進する必要があります。

⇒スマート農業の導入による農業経営の効率化のほか、認定新規就農者や規模拡大を図る認定農業者に対する支援を拡充するとともに、農地の貸借をあっせんし、農地の集積・集約化を図ります。

- ・ 漁業者の所得向上を図る必要があります。

⇒漁獲物に付加価値を付ける研究や漁場環境の改善等を支援します。

- ・ 都市型の農水産業の理解を深める必要があります。

⇒体験イベントや生産者との交流活動を実施し、市民の農水産業に対しての理解を促進するとともに、地産地消に取り組みます。

関連事業

都市農業促進事業、漁業理解促進事業、農道・用排水路整備事業、ひらつか花アグリ推進事業、担い手総合対策事業、新規就農者育成事業、水産振興推進事業、農地流動化促進事業